



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>	
建物名称	学校法人真青会 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー静岡校新築工事
BEE	0.9
BEEランク	B-
	★★

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつつ 3点以上
			がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	3.0
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>①窓システムSC:0.3、U=3.36(W/m2K)、外壁その他:U=0.78(W/m2K)</p> <p>④給水VLP(B)、給湯VLP(C)、排水SGP(C)。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	屋光利用設備	
	3 3.2 3.2.1 ③	屋光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし</p>	Q-3 1	⑤	生物環境の保全と創出
	3 3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦BPI<sub>in</sub>=0.64。</p>	LR-1 1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制
	2	⑧	自然エネルギー利用
	3	⑨	設備システムの高効率化
	4 4.1	⑩	モニタリング
	4.2	⑩	運用管理体制
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。</p> <p>⑫床: O.Aフロア、タイルカーペット、長尺塩ビシート貼り</p> <p>屋根: ビニル床シート</p> <p>⑬LGS使用している。</p> <p>⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	LR-2 1 1.1	⑪	節水
	1.2 1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
	1.2.2 ⑪	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
	2 2.1	⑫	材料使用量の削減
	2.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
	2.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
	2.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
	2.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
	2.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
	3 3.1	⑬	有害物質を含まない材料の使用
	3.2 3.2.1	⑬	消火剤
	3.2.2	⑬	断熱材
	3.2.3	⑬	冷媒
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭ライフサイクルCO2排出率89%</p>	LR-3 1	⑭	地球温暖化への配慮
	2 2.2	⑮	温熱環境悪化の改善
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	2.9
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>特になし</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯	耐震性
	2.1.2	⑯	免震・制振性能
	2.4	⑰	空調・換気設備
	2.4.1	⑰	給排水・衛生設備
	2.4.3	⑰	電気設備
	2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
	2.4.5	⑰	通信・情報設備
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲階高:3.95m。</p> <p>⑲0.1≦[壁長さ比率]&lt;0.3</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>特になし</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
	3 3.1 3.1.1	⑲	階高のゆとり
	3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
	Q-3 3 3.1	㉑	地域性への配慮、快適性の向上
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	2.0
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし</p>	Q-3 1	⑵	生物環境の保全と創出
	2	⑵	まちなみ景観への配慮
	3 3.2	⑶	敷地内温熱環境の向上
<p>■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善)</p> <p>特になし</p>	LR-2 2 2.5	⑵	持続可能な森林から産出された木材
	LR-3 2 2.2	⑵	温熱環境悪化の改善

# CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人爽青会 専門学校ルネサ	階数	地上6F
建設地	静岡県駿河区東静岡二丁目15番の	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	68人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年5月3日
敷地面積	757㎡	作成者	安井孝浩
建築面積	448㎡	確認日	
延床面積	2,422㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記+②以外の 89%  
④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健)	2.2
4(教育)	1.4
5(ジェンダー)	
6(水・衛生)	1.9
7(エネルギー)	1.5
8(経済・雇用)	2.0
9(インフラ)	2.0
11(都市)	1.6
12(生産・消費)	2.1
13(気候変動)	2.1
15(陸上資源)	1.1
17(実施手段)	2.2

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 窓システムSC: 0.3、U=3.36(W/m <sup>2</sup> K)、外壁その他: U=0.78(W/m <sup>2</sup> K) ビル全体の禁煙が確認されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高:3.95m。 床荷重: 2900N/m <sup>2</sup> ケーブルラックにより仕上げ材を痛めることなく更新・修繕可能	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.64。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率89%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される